

平成26年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		福岡県		市町村類型	Ⅱ－１		指定団体等の指定状況		区分		平成26年度(千円)	平成25年度(千円)	区分		平成26年度(千円・％)	平成25年度(千円・％)													
							財政健全化等	×	歳入総額	19,677,033	18,873,024	実質収支比率	6.4	5.5															
市町村名		古賀市		地方交付税種地	2-5		財源超過	×	歳出総額	18,877,795	18,138,621	経常収支比率	92.7	90.2															
							首都	×	歳入歳出差引	799,238	734,403	(※1)	(101.2)	(98.9)															
							近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	72,003	98,416	標準財政規模	11,393,932	11,528,245															
								×	実質収支	727,235	635,987	財政力指数	0.66	0.65															
人口		22年国調(人)	57,920 <th colspan="3" rowspan="3">産業構造 (※5)</th> <th>中部</th> <th>×</th> <th>単年度収支</th> <th>91,248</th> <th>-140,162</th> <th>公債費負担比率</th> <th>10.4</th> <th>11.0</th>	産業構造 (※5)			中部	×	単年度収支	91,248	-140,162	公債費負担比率	10.4	11.0															
		17年国調(人)	55,943 <th>過疎</th> <th>×</th> <th>積立金</th> <th>322,942</th> <th>394,929</th> <th>健全化判断比率</th> <th></th> <th></th>				過疎	×	積立金	322,942	394,929	健全化判断比率																	
		増減率 (％)	3.5 <th>山振</th> <th>×</th> <th>繰上償還金</th> <th>-</th> <th>-</th> <th>実質赤字比率</th> <th>-</th> <th>-</th>				山振	×	繰上償還金	-	-	実質赤字比率	-	-															
住民基本台帳人口		27.01.01(人)	58,370 <th>区分</th> <th>22年国調</th> <th>17年国調</th> <th>低開発</th> <th>×</th> <th>積立金取崩し額</th> <th>250,000</th> <th>212,483</th> <th>連結実質赤字比率</th> <th>-</th> <th>-</th>	区分	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	250,000	212,483	連結実質赤字比率	-	-															
		うち日本人(人)		57,935 <th rowspan="2">第1次</th> <td>556</td> <td>727<th>指数表選定</th><th>○</th><th>実質単年度収支</th><th>164,190</th><th>42,284</th><th>実質公債費比率</th><th>6.6</th><th>8.5</th></td>	第1次	556	727 <th>指数表選定</th> <th>○</th> <th>実質単年度収支</th> <th>164,190</th> <th>42,284</th> <th>実質公債費比率</th> <th>6.6</th> <th>8.5</th>	指数表選定	○	実質単年度収支	164,190	42,284	実質公債費比率	6.6	8.5														
		26.01.01(人)		58,643 <td>2.1</td> <td>2.7<th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>将来負担比率</th><th>-</th><th>-</th></td>		2.1	2.7 <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>将来負担比率</th> <th>-</th> <th>-</th>						将来負担比率	-	-														
		うち日本人(人)		58,179 <th rowspan="2">第2次</th> <td>6,914</td> <td>7,025<th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th rowspan="6">資金不足比率 (※4)</th><th rowspan="6"></th><th rowspan="6"></th></td>	第2次	6,914	7,025 <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th rowspan="6">資金不足比率 (※4)</th> <th rowspan="6"></th> <th rowspan="6"></th>						資金不足比率 (※4)																
		増減率 (％)		-0.5 <td>26.4</td> <td>26.5<th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></td>		26.4	26.5 <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>																						
		うち日本人(％)		-0.4 <th rowspan="2">第3次</th> <td>18,745</td> <td>18,429<th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></td>	第3次	18,745	18,429 <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>																						
			71.5	69.4 <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>																									
面積 (km ²)		42.07 <th colspan="3"></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>																											
人口密度 (人/km ²)		1,377 <th colspan="3"></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>																											
世帯数 (世帯)		21,517 <th colspan="3"></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th>																											
職員の状況																													
特別職等	区分		定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分		職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		13,767,992	13,211,818															
	市区町村長		1	8,750 <th colspan="2">一般職員</th> <td>300</td> <td>918,000</td> <td>3,060<th colspan="2">うち公的資金</th><td>12,123,804</td><td>11,564,574</td></td>		一般職員		300	918,000	3,060 <th colspan="2">うち公的資金</th> <td>12,123,804</td> <td>11,564,574</td>	うち公的資金		12,123,804	11,564,574															
	副市区町村長		2	6,890 <th colspan="2">うち消防職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th><td>2,131,006</td><td>1,213,655</td></td>		うち消防職員		-	-	- <th colspan="2">債務負担行為額(支出予定額)</th> <td>2,131,006</td> <td>1,213,655</td>	債務負担行為額(支出予定額)		2,131,006	1,213,655															
	教育長		1	6,560 <th colspan="2">うち技能労務職員</th> <td>1</td> <td>*</td> <td>*</td> <th colspan="2">収益事業収入</th> <td>-</td> <td>-</td>		うち技能労務職員		1	*	*	収益事業収入		-	-															
	議会議長		1	4,950 <th colspan="2">教育公務員</th> <td>1</td> <td>*</td> <td>*</td> <th colspan="2">土地開発基金現在高</th> <td>-</td> <td>-</td>		教育公務員		1	*	*	土地開発基金現在高		-	-															
	議会副議長		1	4,360 <th colspan="2">臨時職員</th> <td>-</td> <td>-</td> <td>-<th rowspan="2">積立金現在高</th><th>財政調整基金</th><td>2,938,322</td><td>2,865,380</td></td>		臨時職員		-	-	- <th rowspan="2">積立金現在高</th> <th>財政調整基金</th> <td>2,938,322</td> <td>2,865,380</td>	積立金現在高	財政調整基金	2,938,322	2,865,380															
	議会議員		17	4,000 <th colspan="2">合計</th> <td>301</td> <td>922,021</td> <td>3,063<th>減債基金</th><td>51,390</td><td>55,098</td></td>		合計		301	922,021	3,063 <th>減債基金</th> <td>51,390</td> <td>55,098</td>		減債基金	51,390	55,098															
						ラスパイレス指数					97.2 <th colspan="2">その他特定目的基金</th> <td>1,962,649</td> <td>2,142,834</td>	その他特定目的基金		1,962,649	2,142,834														
	一般会計等の一覧																												
項番		会計名		事業会計の一覧		項番		会計名		公営企業(法適)の一覧		項番		会計名		公営企業(法非適)の一覧		項番		組合等名		地方公社・第三セクター等一覧		項番		団体名		(※3)	
(1)		一般会計		(3)		国民健康保険特別会計		(7)		水道事業会計		(8)		公共下水道事業特別会計		(10)		玄界環境組合		(20)		古賀市土地開発公社							
(2)		住宅新築資金等貸付事業特別会計		(4)		後期高齢者医療特別会計						(9)		農業集落排水事業特別会計		(11)		古賀高等学校組合											
				(5)		介護保険特別会計(保険事業勘定)										(12)		福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合											
				(6)		介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)										(13)		福岡県市町村職員退職手当組合(一般会計)											
																(14)		福岡県市町村職員退職手当組合(基金特別会計)											
																(15)		糟屋郡自治会館組合											
																(16)		北筑昇華苑組合											
																(17)		粕屋北部消防組合(一般会計)											
																(18)		粕屋北部消防組合(粕屋北部消防組合休日診療事業特別会計)											
																(19)		福岡県自治振興組合(一般会計)											

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	6,733,459	34.2	6,733,459	63.8	普通税	6,733,378	100.0	101,696	
地方譲与税	148,872	0.8	148,872	1.4	法定普通税	6,733,378	100.0	101,696	
利子割交付金	15,686	0.1	15,686	0.1	市町村民税	3,313,513	49.2	101,696	
配当割交付金	49,891	0.3	49,891	0.5	個人均等割	93,101	1.4	-	
株式等譲渡所得割交付金	27,834	0.1	27,834	0.3	所得割	2,606,220	38.7	-	
地方消費税交付金	659,281	3.4	659,281	6.2	法人均等割	193,094	2.9	32,183	
ゴルフ場利用税交付金	10,200	0.1	10,200	0.1	法人税割	421,098	6.3	69,513	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	2,908,140	43.2	-	
自動車取得税交付金	23,552	0.1	23,552	0.2	うち純固定資産税	2,885,924	42.9	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	103,795	1.5	-	
地方特例交付金	38,258	0.2	38,258	0.4	市町村たばこ税	407,930	6.1	-	
地方交付税	3,122,457	15.9	2,810,561	26.6	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	2,810,561	14.3	2,810,561	26.6	特別土地保有税	-	-	-	
特別交付税	311,894	1.6	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	2	0.0	-	-	目的税	81	0.0	-	
（一般財源計）	10,829,490	55.0	10,517,594	99.6	法定目的税	81	0.0	-	
交通安全対策特別交付金	11,413	0.1	11,413	0.1	入湯税	81	0.0	-	
分担金・負担金	322,898	1.6	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	175,971	0.9	15,514	0.1	都市計画税	-	-	-	
手数料	180,846	0.9	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	3,434,351	17.5	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金（特別区財調交付金）	776	0.0	776	0.0	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	1,467,240	7.5	-	-	合計	6,733,459	100.0	101,696	
財産収入	27,998	0.1	8,564	0.1					
寄附金	276	0.0	-	-					
繰入金	469,919	2.4	-	-					
繰越金	734,403	3.7	-	-					
諸収入	228,892	1.2	3,905	0.0					
地方債	1,792,560	9.1	-	-					
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	968,460	4.9	-	-					
歳入合計	19,677,033	100.0	10,557,766	100.0					

地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	収入済額	構成比	超過課税分	
普通税	6,733,378	100.0	101,696	
法定普通税	6,733,378	100.0	101,696	
市町村民税	3,313,513	49.2	101,696	
個人均等割	93,101	1.4	-	
所得割	2,606,220	38.7	-	
法人均等割	193,094	2.9	32,183	
法人税割	421,098	6.3	69,513	
固定資産税	2,908,140	43.2	-	
うち純固定資産税	2,885,924	42.9	-	
軽自動車税	103,795	1.5	-	
市町村たばこ税	407,930	6.1	-	
鉱産税	-	-	-	
特別土地保有税	-	-	-	
法定外普通税	-	-	-	
目的税	81	0.0	-	
法定目的税	81	0.0	-	
入湯税	81	0.0	-	
事業所税	-	-	-	
都市計画税	-	-	-	
水利地益税等	-	-	-	
法定外目的税	-	-	-	
旧法による税	-	-	-	
合計	6,733,459	100.0	101,696	

徴収率（％）				
区分	合計	平成26年度	平成25年度	
徴収率（％）	99.1	95.9	98.9	95.1
市町村民税	99.0	95.9	98.7	95.0
純固定資産税	99.1	95.4	99.0	94.7

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	2,134,405	実質収支	-17,239
下水道	528,737	再差引収支	-122,858
上水道	45,920	加入世帯数（世帯）	7,888
工業用水道	-	被保険者数（人）	13,675
交通	-	被保険者	87
国民健康保険	415,690	1人当り	96
その他	1,144,058		298

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	224,090	1.2	15,516	209,090	
総務費	2,135,519	11.3	147,652	1,749,256	
民生費	7,735,405	41.0	267,683	3,487,325	
衛生費	1,862,282	9.9	55,049	1,651,203	
労働費	16,802	0.1	-	10,865	
農林水産業費	380,836	2.0	164,545	192,447	
商工費	102,269	0.5	-	76,332	
土木費	1,564,537	8.3	615,823	957,730	
消防費	714,473	3.8	22,767	682,799	
教育費	2,744,141	14.5	922,550	1,779,932	
災害復旧費	2,207	0.0	-	2,207	
公債費	1,395,234	7.4	-	1,344,518	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	18,877,795	100.0	2,211,585	12,143,704	

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	9,073,163	48.1	5,269,760	5,263,935	45.7
人件費	2,743,506	14.5	2,509,972	2,504,238	21.7
うち職員給	1,768,589	9.4	1,567,715	-	-
扶助費	4,934,442	26.1	1,415,289	1,415,198	12.3
公債費	1,395,215	7.4	1,344,499	1,344,499	11.7
元利償還金	1,394,622	7.4	1,343,906	1,343,906	11.7
うち元金	1,236,386	6.5	1,187,582	1,187,582	10.3
うち利子	158,236	0.8	156,324	156,324	1.4
一時借入金利子	593	0.0	593	593	0.0
その他の経費	7,590,840	40.2	6,666,619	5,418,304	47.0
物件費	2,520,633	13.4	1,979,302	1,869,560	16.2
維持補修費	155,370	0.8	144,246	144,246	1.3
補助費等	2,443,932	12.9	2,375,293	1,688,537	14.6
うち一部事務組合負担金	1,913,264	10.1	1,913,264	1,415,322	12.3
繰出金	2,088,485	11.1	1,828,865	1,715,961	14.9
積立金	326,001	1.7	317,994	-	-
投資・出資金・貸付金	56,419	0.3	20,919	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	2,213,792	11.7	207,325	-	-
うち人件費	40,406	0.2	40,406	-	-
普通建設事業費	2,211,585	11.7	205,118	-	-
うち補助	1,722,385	9.1	77,581	-	-
うち単独	471,200	2.5	120,397	-	-
災害復旧事業費	2,207	0.0	2,207	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	18,877,795	100.0	12,143,704	-	-

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	19,670	18,877	793	721	478	13,768	
2 住宅新築資金等貸付事業特別会計	15	8	6	6	-	0	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
計 一般会計等(純計)	19,677	18,878	799	727		13,768	実質赤字額

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純増益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	6,038	6,056	▲ 17	▲ 17	416	-	-	-	
2 後期高齢者医療特別会計	627	615	12	12	144	-	-	-	
3 介護保険特別会計(保険事業勘定)	3,269	3,080	190	190	502	-	-	-	
4 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	29	28	2	2	1	-	-	-	
5 水道事業会計	1,043	994	49	1,445	9	3,231	13	-	法適用企業
6 公共下水道事業特別会計	1,666	1,663	3	2	497	11,979	4,959	-	法非適用企業
7 農業集落排水事業特別会計	217	213	4	3	32	612	603	-	法非適用企業
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
計 公営企業会計等				1,636		15,922	5,575		連結実質赤字額

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 水界環境組合	4,626	4,579	47	47	70	5,271	1,044	
2 古賀高等学校組合	599	589	10	10	11	849	463	
福岡県市町村消防団員等公営災害補償組合	97	96	1	1	—	—	—	
福岡県市町村職員退職手当組合 (一般会計)	12,093	12,093	1	1	195	—	—	
福岡県市町村職員退職手当組合 (基金特別会計)	87	87	—	—	—	—	—	
6 糟屋郡日会館組合	18	17	1	1	—	—	—	
7 北筑原華荘組合	400	381	19	19	134	84	9	
8 粕屋北部消防組合 (一般会計)	991	976	15	15	13	115	73	
9 粕屋北部消防組合 (粕屋北部消防組合休日診療事業特別会計)	30	23	7	7	5	—	—	
10 福岡県自治振興組合 (一般会計)	187	174	13	13	—	—	—	
11 福岡県自治振興組合 (公文書館事業特別会計)	65	65	—	—	—	—	—	
12 福岡都市圏広域行政事業組合 (一般会計)	106	101	5	5	22	—	—	
13 福岡都市圏広域行政事業組合 (流域連携事業特別会計)	62	62	—	—	—	—	—	
14 福岡都市圏広域行政事業組合 (競艇事業会計)	2,637	2,637	—	—	—	—	—	
15 福岡県後期高齢者医療広域連合 (一般会計)	4,608	4,489	119	119	80	—	—	
16 福岡県後期高齢者医療広域連合 (後期高齢者医療特別会計)	711,828	677,326	34,502	34,502	4,624	—	—	
17 福岡地区水道企業団	11,567	11,027	539	5,521	—	20,932	2	
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				40,261		27,251	1,591	

公債費負担の状況

将来負担の状況

実質公債費比率（千円・％）					将来負担比率（千円・％）												
区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	区分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	内訳		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
元利償還金		1,604,954	1,515,516	1,394,622	14.4	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	13,108,551	13,211,818	13,767,992	142.1	PFI事業に係るもの		-	-	-	-
減価基金積立不足算定額		-	-	-	-		債務負担行為に基づく支出予定額	14,084	12,524	10,911	0.1	いわゆる五省協定等に係るもの		-	-	-	-
準 元 利 償 還 金	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		公営企業債等繰入見込額	4,590,516	5,610,059	5,575,321	57.6	国営土地改良事業に係るもの		-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	319,293	395,268	421,957	4.4		組合等負担等見込額	2,869,109	2,088,015	1,590,907	16.4	森林総合研究所等が行う事業に係るもの		-	-	-	-
	組合等が起した地方債の元利償還金に対する負担金等	341,781	347,875	301,375	3.1		退職手当負担見込額	493,272	445,221	12,380	0.1	地方公務員等共済組合に係るもの		-	-	-	-
	債務負担行為に基づき支出額（公債費に準ずるもの）	168,111	164,568	164,763	1.7		設立法人等の負債額等負担見込額	125,779	220,468	219,922	2.3	依頼土地の買い戻しに係るもの		-	-	-	-
	一時借入金の利息	-	-	-	-		連結実質赤字額	-	-	-	-	社会福祉法人の施設建設費に係るもの		-	-	-	-
合計（A）		2,434,139	2,423,227	2,282,717	-		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの		-	-	-	-
内訳		平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比		合計（E）	21,201,311	21,588,105	21,177,433	-	引き受けた債務の履行に係るもの		-	-	-	-
債 務 負 担 行 為	PFI事業に係るもの	-	-	-	-		充た可能 財源等	充た可能基金	5,135,705	5,334,475	5,250,716	54.2	その他上記に準ずるもの		14,084	12,524	10,911
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	充た可能特定歳入		920,334	873,459	830,689	8.6	企業債等 繰入見込額	公共下水道事業特別会計	4,077,731	5,079,100	4,959,319	51.2
	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	基準財政需要額算入見込額		18,476,339	18,279,759	18,324,366	189.2		農業集落排水事業特別会計	498,422	513,894	603,079	6.1
	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	合計（F）	24,532,378	24,487,693	24,405,771	-	水道事業会計		14,363	17,065	12,923	0.2	
	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-	将来負担比率（(E)－(F)）／（(C)－(D)）×100	-	-	-	-	その他の会計		-	-	-	-	
	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	健全化判断比率 平成26年度 早期健全化基準 財政再生基準	実質赤字比率 - 13.13 20.00 連結実質赤字比率 - 18.13 30.00 実質公債費比率 6.6 25.0 35.0 将来負担比率 - 350.0	地方道路公社に係る将来負担額 土地開発公社に係る将来負担額 その他第三セクター等に係る将来負担額	125,779 220,468 219,922	- - -	- - -						
	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-												
	その他上記に準ずるもの	168,111	164,568	164,763	1.7							-	-	-			
	利子補給に係るもの	-	-	-	-												
	特定財源の額	(B)	49,706	50,361	50,716												
標準財政規模	(C)	11,429,716	11,528,245	11,393,932													
算入公債費等の額	(D)	1,647,029	1,673,642	1,708,095													
	(C)－(D)	9,782,687	9,854,603	9,685,837													
実質公債費比率（単年度）		7.5	7.1	5.4													
((A)－(B)＋(D))／((C)－(D))×100		9.0	8.5	6.6													
（3年平均）		9.0	8.5	6.6													

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

[illegible]

※地方公共団体が①25%以上出資している法人又は②財政支援を行っている法人を記載している。

※地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、○印を付与している。

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成26年度

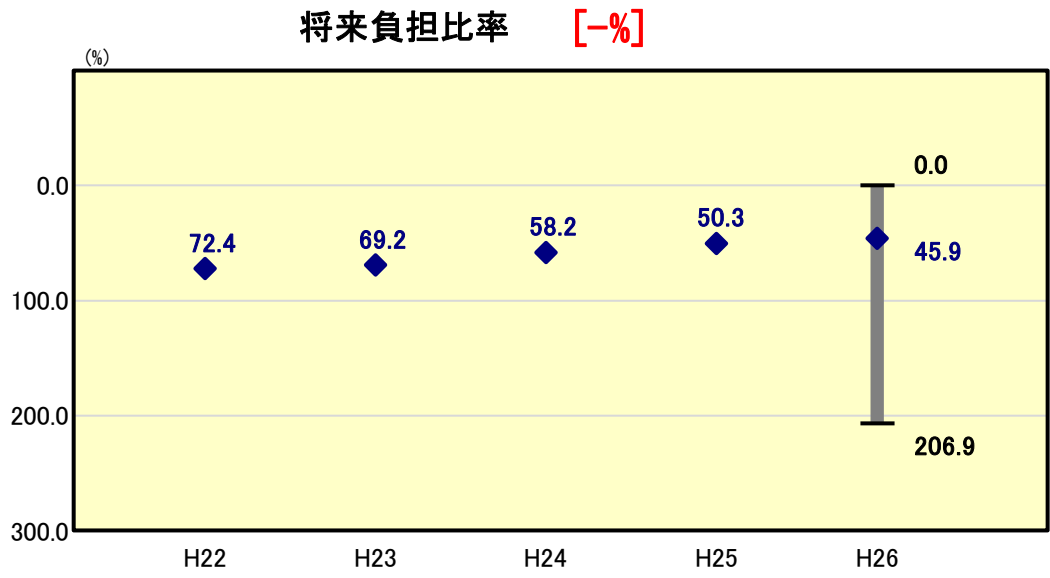
福岡県古賀市

人口	58,370	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	57,935	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	42.07	km ²	実質公債費比率	6.6	%
歳入総額	19,677,033	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	18,877,795	千円			
実質収支	727,235	千円	市町村類型	H22Ⅱ-3H23Ⅱ-1H24Ⅱ-1	
標準財政規模	11,393,932	千円	(年度毎)	H25Ⅱ-1H26Ⅱ-1	
地方債現在高	13,767,992	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

将来負担の状況

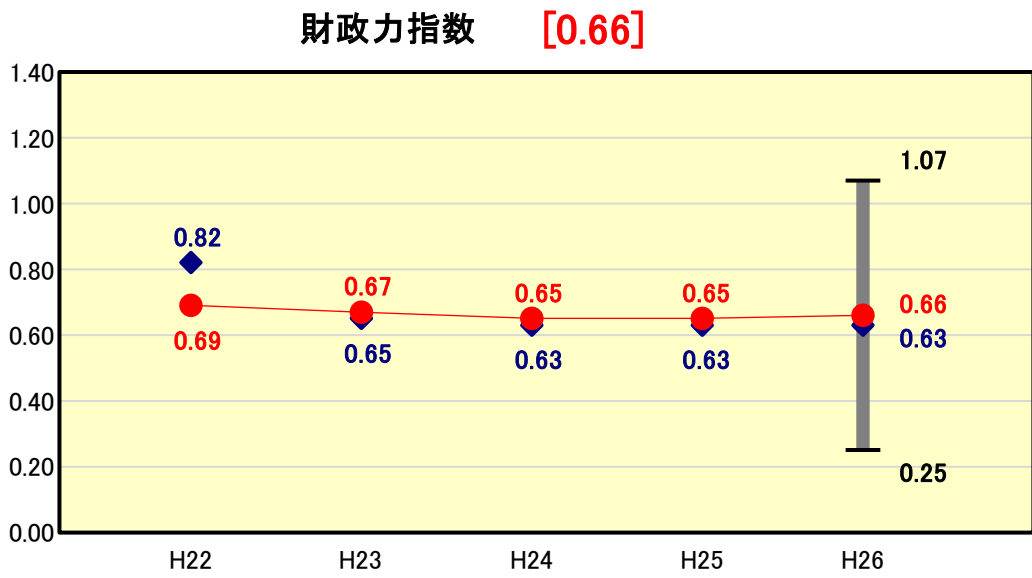


類似団体内順位 1/198
全国平均 45.8
福岡県平均 84.4

将来負担比率の分析欄

例年、充当可能財源等が将来負担額を上回っているため、将来負担比率は発生していない。今後とも将来世代負担の適正化に留意し、財政運営を行っていく。

財政力

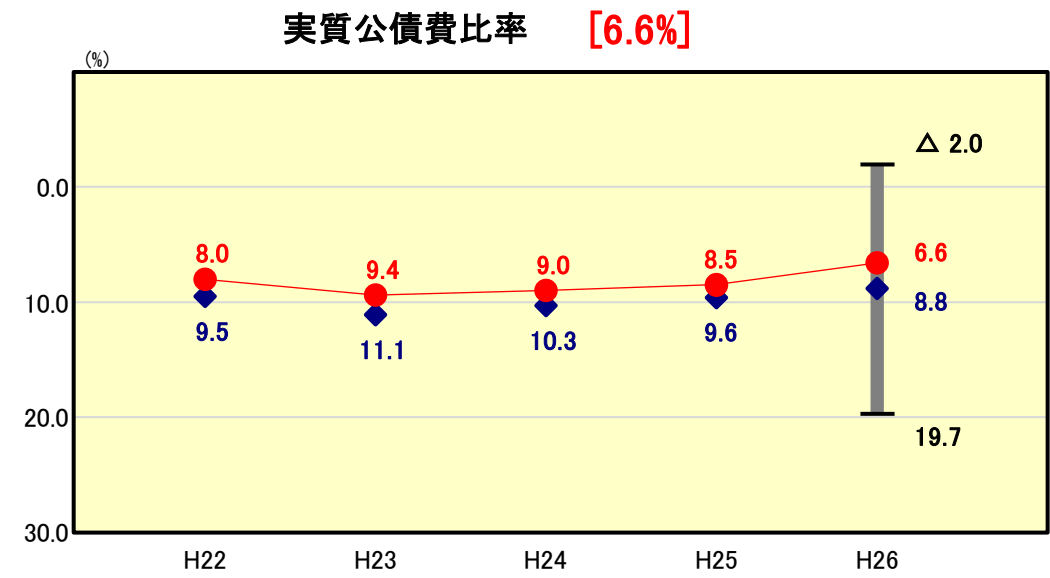


類似団体内順位 83/198
全国平均 0.49
福岡県平均 0.50

財政力指数の分析欄

平成22年度以降、減少傾向にあったが、地方消費税交付金の増等の影響により、0.01ポイント上昇した。しかしながら、類似団体内平均値との差は0.03ポイントと微小であることから、引き続き税収増加等の自主財源の確保に取り組むように努める。

公債費負担の状況

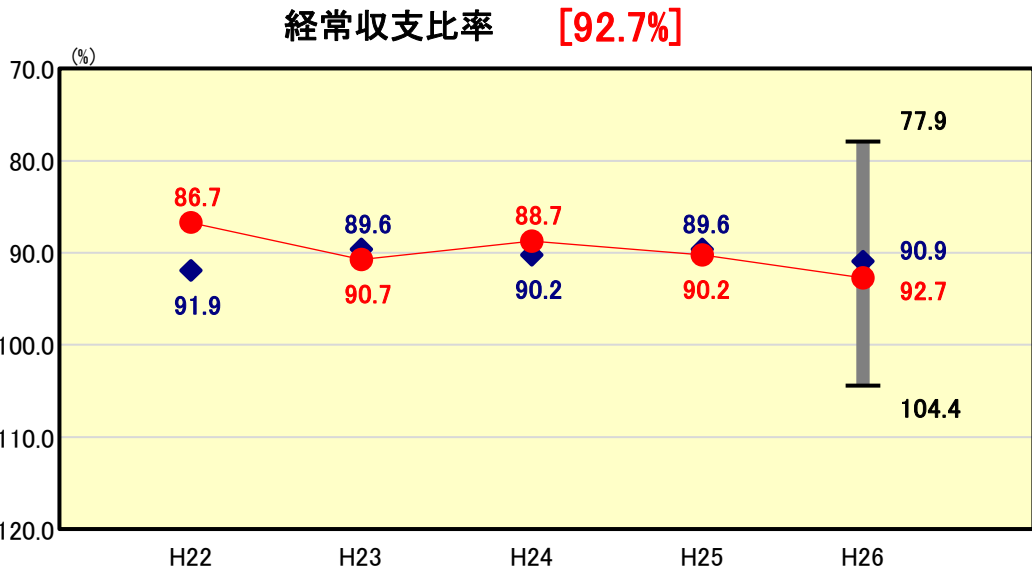


類似団体内順位 62/198
全国平均 8.0
福岡県平均 9.8

実質公債費比率の分析欄

例年、類似団体内平均値を下回っているが、今後、研修棟の建て替えや老朽化した市有施設の整備・更新のため新規起債発行額の増加が見込まれるため、公共施設等総合管理計画の策定などを行い、慎重な起債判断に努める。また、他会計への繰出金や一部事務組合等への負担金についても将来世代の過度な負担にならないよう留意する必要がある。

財政構造の弾力性

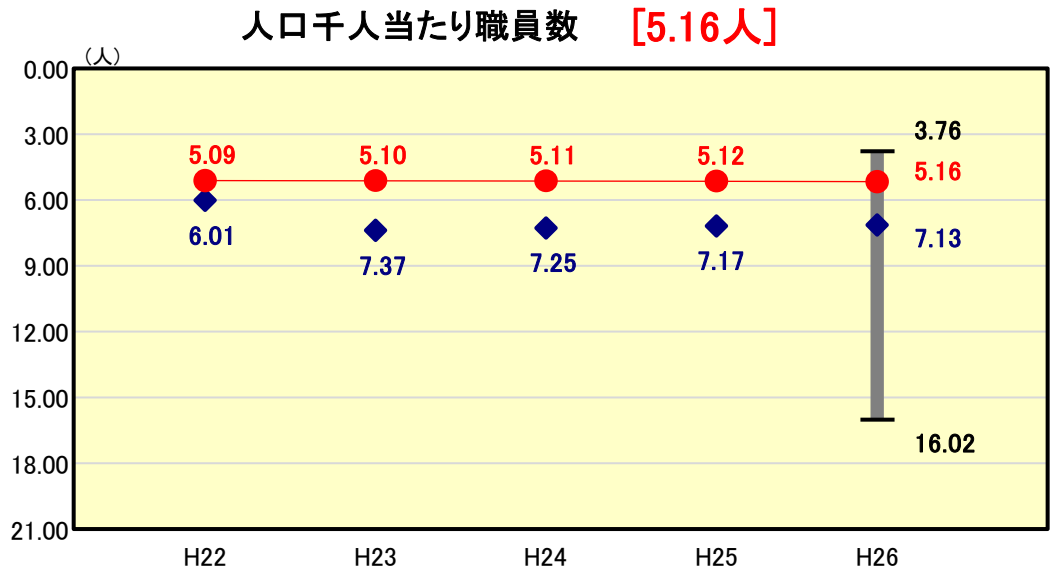


類似団体内順位 133/198
全国平均 91.3
福岡県平均 93.3

経常収支比率の分析欄

公共下水道事業特別会計繰出金や扶助費の増等の影響により、昨年度と比較して、2.5ポイント増加した。公共下水道事業特別会計への繰出金については、平成27年度に下水道使用料金の改定を行い、一般会計繰出金の抑制を図る。また、高齢化により後期高齢者医療費等が急増することが予想されるが、健康寿命延伸施策の実施により、医療費抑制に努める。

定員管理の状況

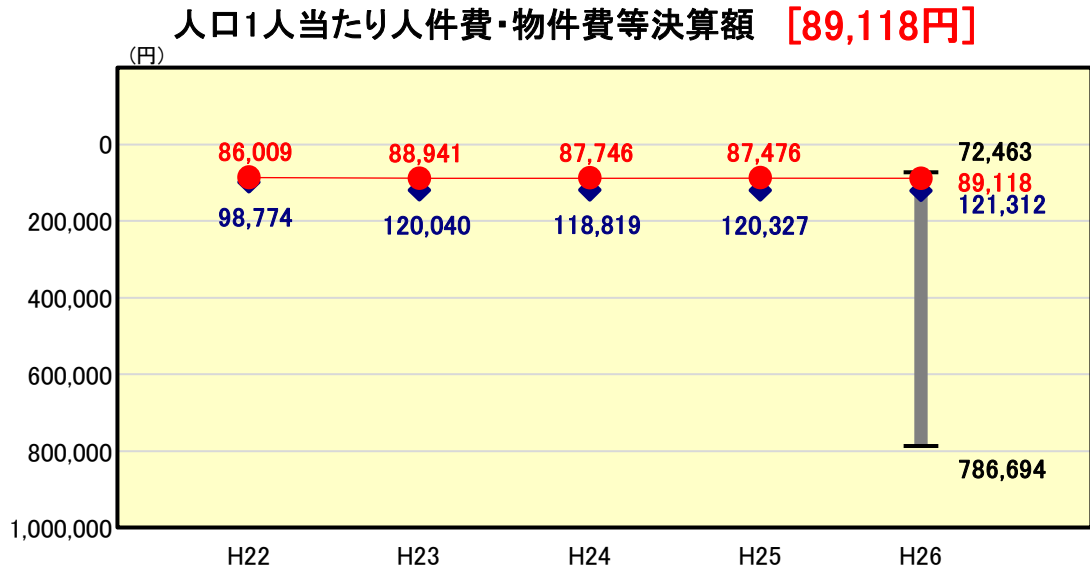


類似団体内順位 20/198
全国平均 6.96
福岡県平均 5.79

人口千人当たり職員数の分析欄

昨年度と比較して、人口が微減しており、相対的に増加している。しかしながら、全国平均、類似団体内平均、県内平均全てにおいて下回っており、今後も適正な職員定数に努める。

人件費・物件費等の状況

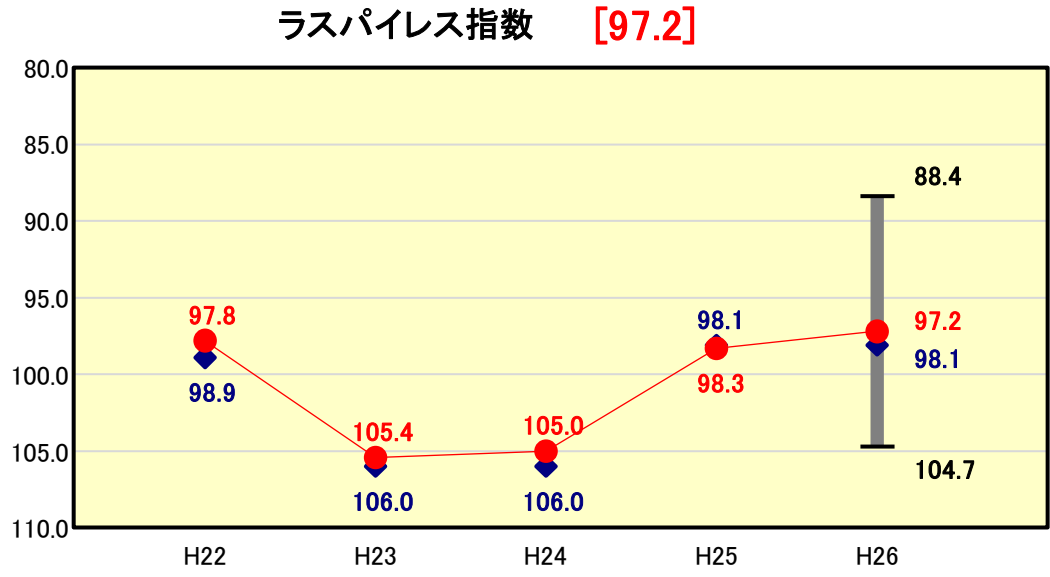


類似団体内順位 24/198
全国平均 119,984
福岡県平均 109,265

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

平成23年度以降、減少傾向が続いていたが、消費税の増税の影響により、平成26年度は昨年度と比較して1,642円増加した。しかしながら、類似団体内平均値を下回っている状況は続いており、引き続き類似団体平均値を下回るように努める。

給与水準（国との比較）



類似団体内順位 65/198
全国市平均 98.7
全国町村平均 95.8

ラスパイレス指数の分析欄

前年度は類似団体内平均値を0.2ポイント上回っていたが、平成26年度は類似団体内平均値を0.9ポイント下回った。今後も適正な給与水準に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

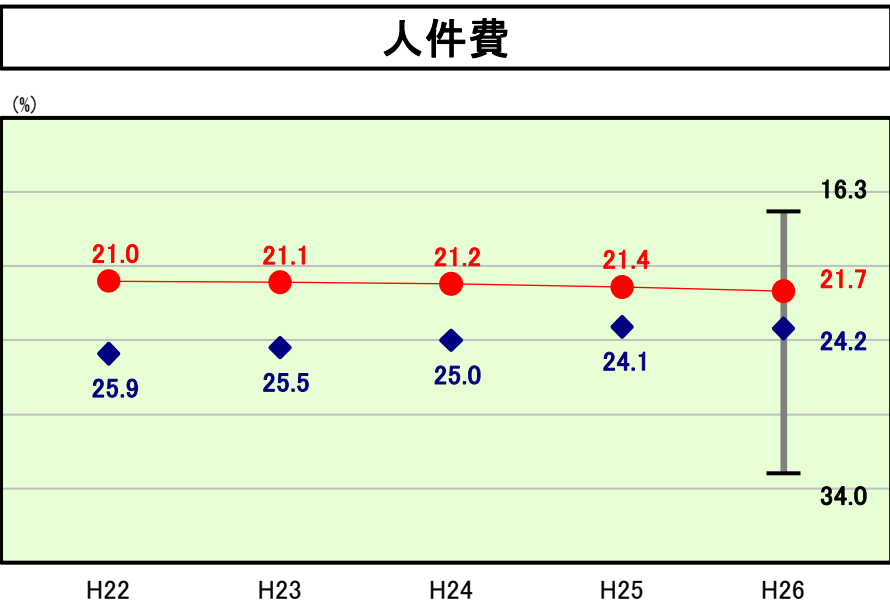
平成26年度

福岡県古賀市

経常収支比率の分析

人口	58,370	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	57,935	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	42.07	km ²	実質公債費比率	6.6	%
歳入総額	19,677,033	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	18,877,795	千円	市町村類型	H22Ⅱ-3 H23Ⅱ-1 H24Ⅱ-1	
実質収支	727,235	千円	(年度毎)	H25Ⅱ-1 H26Ⅱ-1	
標準財政規模	11,393,932	千円			

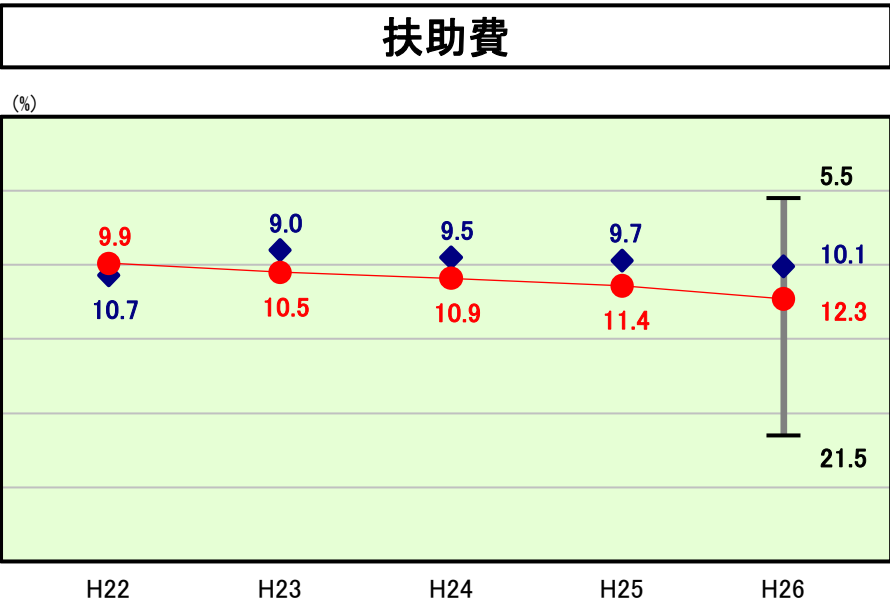
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



類似団体内順位 42/198 全国平均 23.8 福岡県平均 21.2

人件費の分析欄

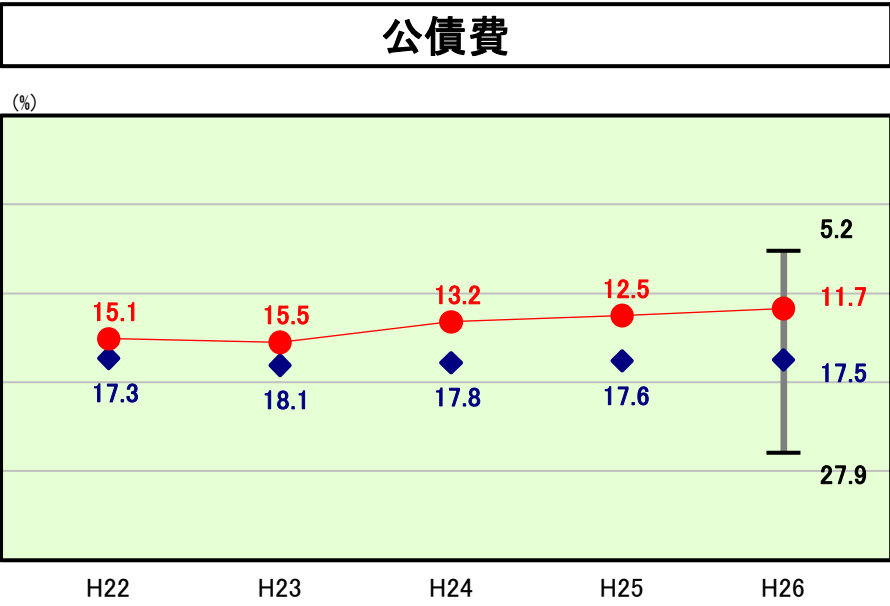
行財政改革等の結果、全国平均、類似団体内平均を下回っている。今後とも人件費の適正な管理に努める。



類似団体内順位 158/198 全国平均 11.7 福岡県平均 14.2

扶助費の分析欄

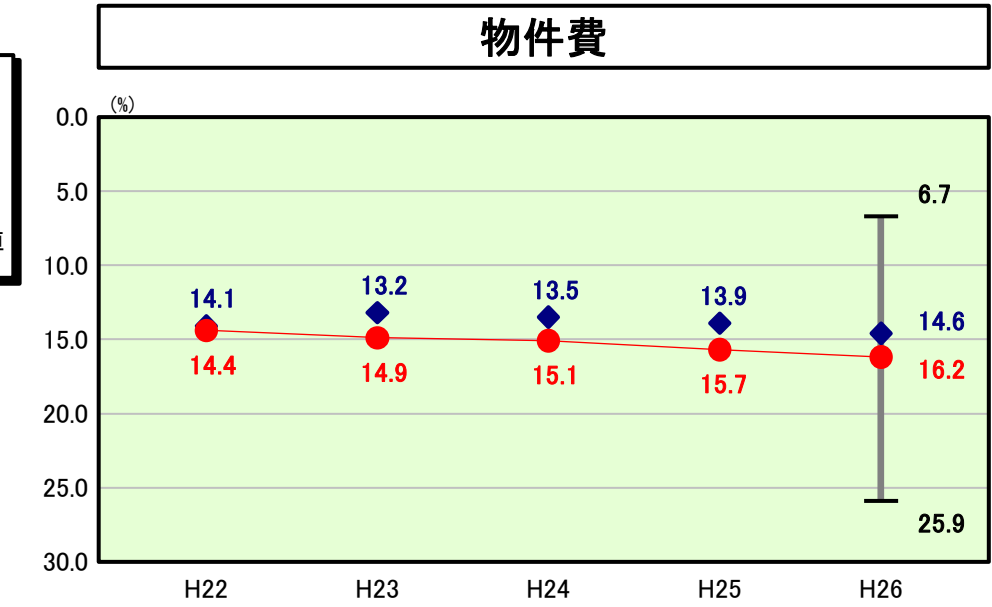
平成23年度以降、類似団体内平均値を上回っている。今後、充当可能な一般財源を確保する一方、健康づくり事業による医療費の適正化や単独扶助事業の見直し等により、扶助費の増額を抑えていく必要がある。



類似団体内順位 21/198 全国平均 18.2 福岡県平均 20.6

公債費の分析欄

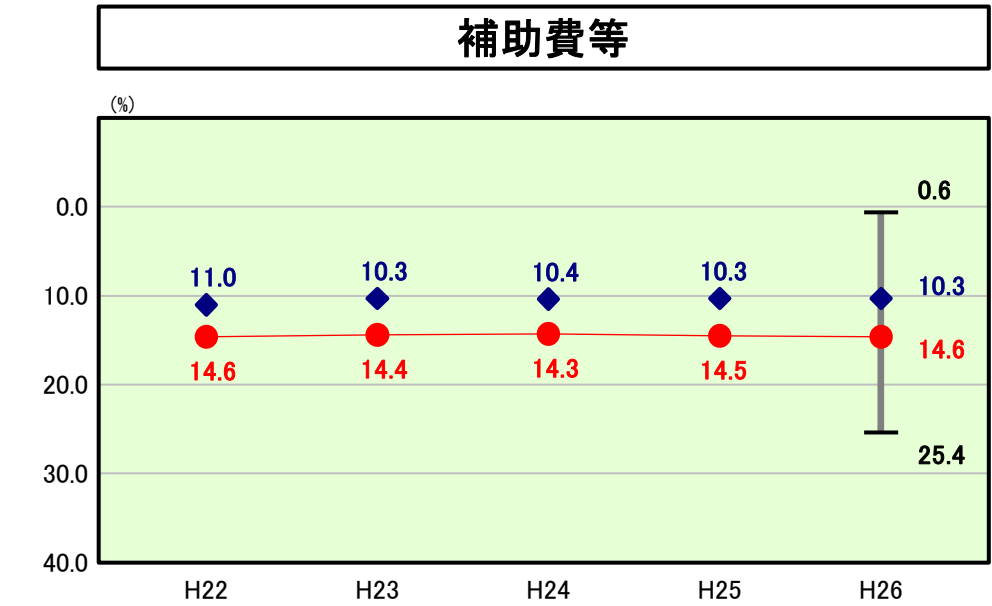
前年度同様、市制施行時の大型事業による公債費負担の終了により、公債費は減少している。しかしながら、今後のインフラ老朽化対策等による新規地方債発行額の増加に備えて償還財源を確保していく必要がある。



類似団体内順位 138/198 全国平均 14.3 福岡県平均 13.9

物件費の分析欄

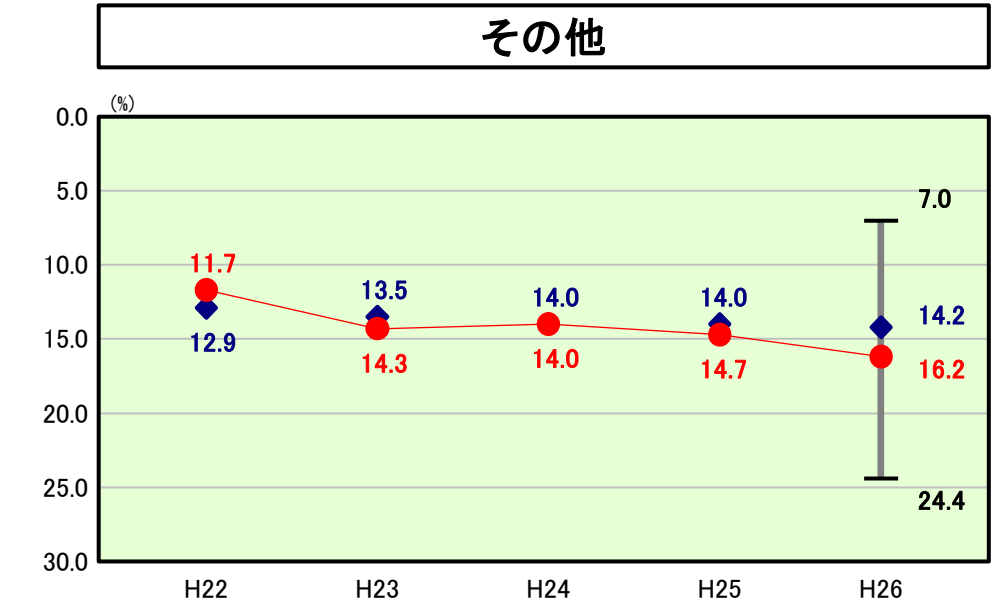
行財政改革により、職員人件費等から委託料(物件費)へのシフトが起きた結果、恒常的に類似団体内平均値を上回っている。また、平成26年度は消費税増税の影響により、物件費が増加した。今後も消費税の増額による影響などが見込まれることから、使用料等受益者負担の適正化を図るなど、物件費の適正化に努める。



類似団体内順位 163/198 全国平均 10.1 福岡県平均 10.9

補助費等の分析欄

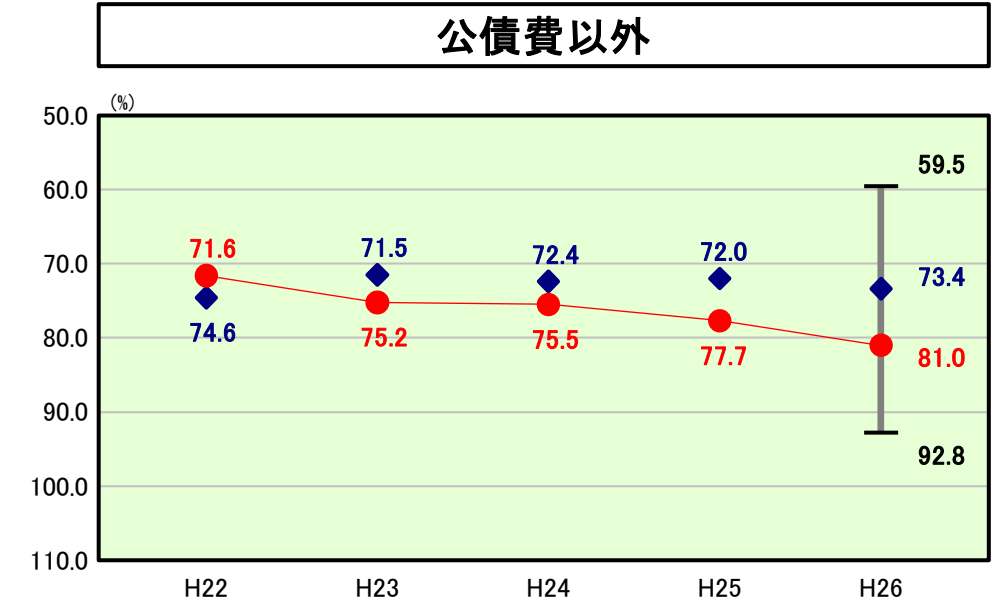
補助費は恒常的に全国平均、類似団体内平均、県内平均を大きく上回っている。一部事務組合負担金の額が大きいことが主な要因となっている。今後、関係自治体と共に組合に対して民営化など経営合理化を求め、負担金の縮減を図っていく必要がある。



類似団体内順位 147/198 全国平均 13.2 福岡県平均 12.5

その他の分析欄

その他の経費は繰出金の増により前年度と比較して1.5ポイントの増となった。今後も少子高齢化による医療費増加等により繰出金が増加することが見込まれるため、各特別会計においては自主採算を原則とし、繰出基準外の繰出を縮減するとともに、適正な利用者負担に努める。



類似団体内順位 176/198 全国平均 73.1 福岡県平均 72.7

公債費以外の分析欄

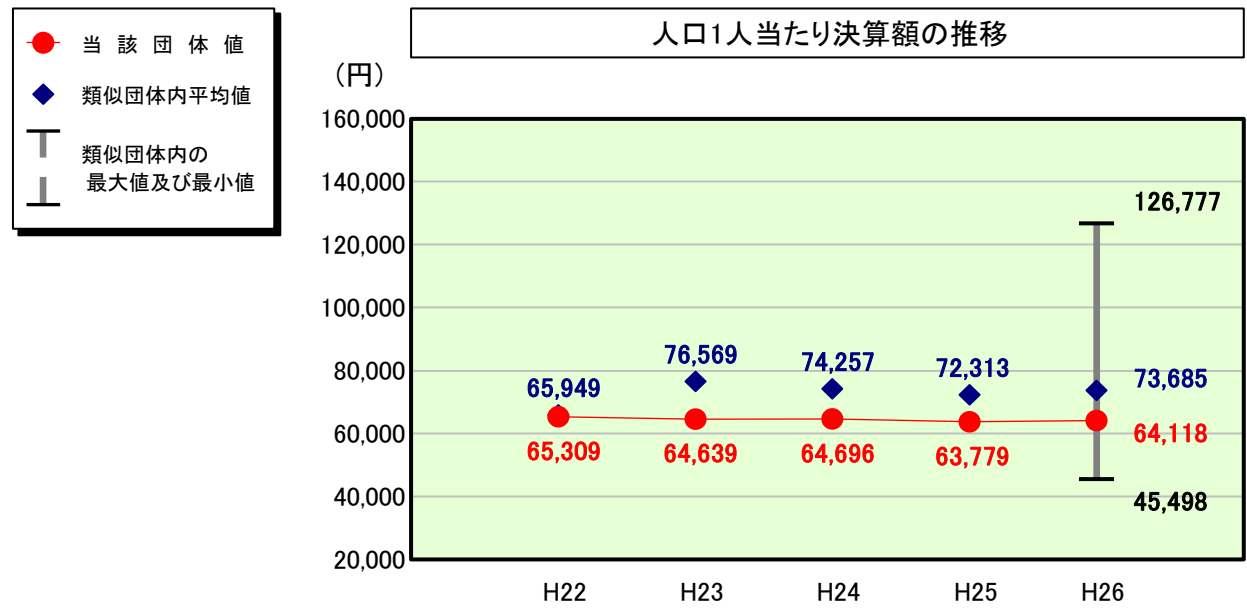
扶助費、物件費、繰出金の増により、昨年度と比較して3.3ポイント増加している。引き続き、充当可能な一般財源を確保する一方、事務事業の見直しにより関係経費を抑制していく必要がある。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

福岡県古賀市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



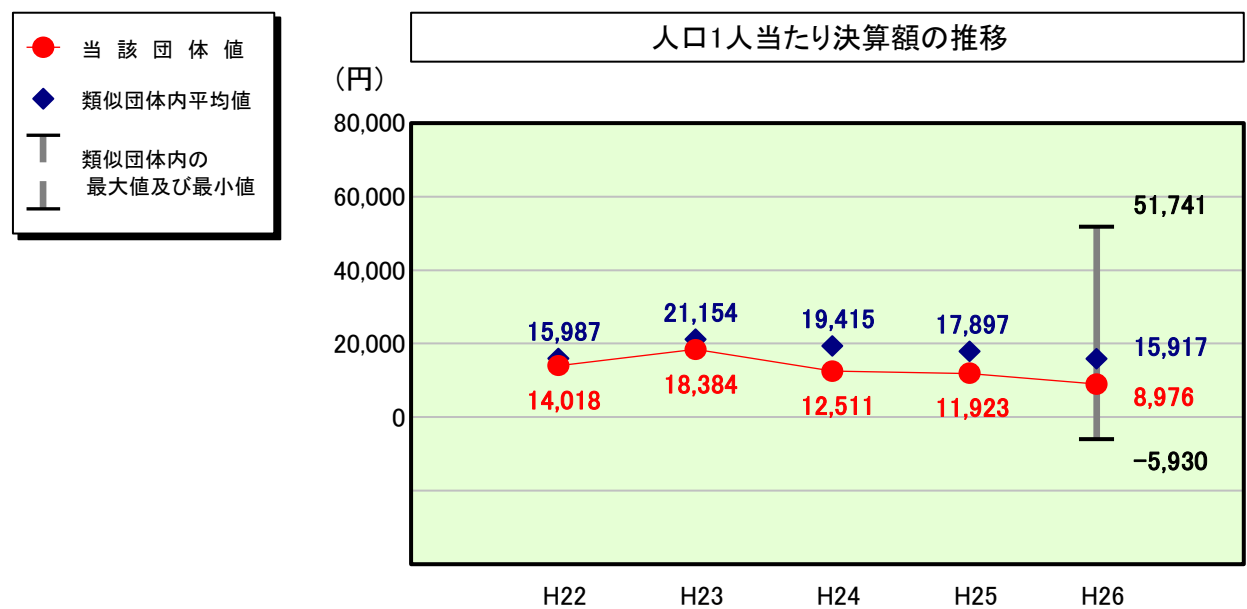
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	2,743,506	47,002	65,114	▲ 27.8
賃金 (物件費)	224,903	3,853	4,538	▲ 15.1
一部事務組合負担金 (補助費等)	846,719	14,506	5,513	163.1
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等)	-	-	953	-
公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金)	-	-	2	-
公営企業 (法非適) 等に対する繰出し (繰出金)	145,174	2,487	2,887	▲ 13.9
事業費支弁に係る職員の人件費 (投資的経費)	40,406	692	1,642	▲ 57.9
▲退職金	▲ 258,113	▲ 4,422	▲ 6,965	▲ 36.5
合計	3,742,595	64,118	73,685	▲ 13.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比 (差引)
人口1,000人当たり職員数 (人)	5.16	7.13	▲ 1.97
ラスパイレス指数	97.2	98.1	▲ 0.9

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

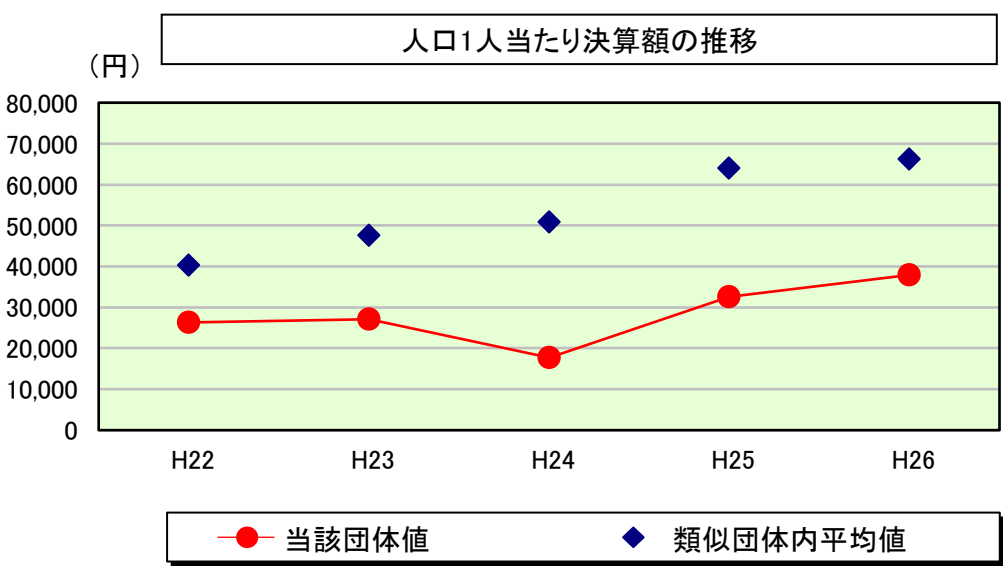


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,394,622	23,893	43,359	▲ 44.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	0	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	39	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	421,957	7,229	11,806	▲ 38.8
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	301,375	5,163	1,910	170.3
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	164,763	2,823	1,129	150.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	5	-
▲特定財源の額	▲ 50,716	▲ 869	▲ 5,126	▲ 83.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,708,095	▲ 29,263	▲ 37,205	▲ 21.3
合計	523,906	8,976	15,917	▲ 43.6

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

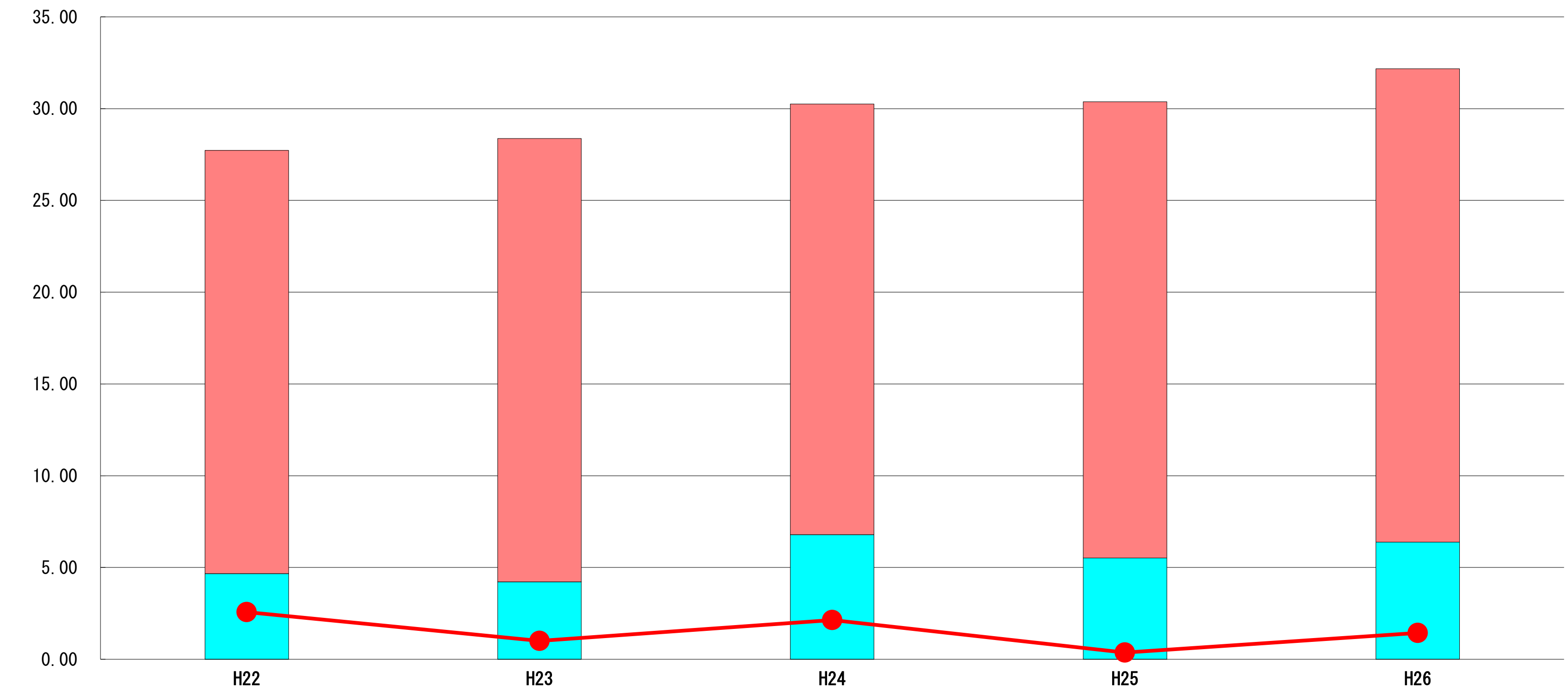
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
H22	1,530,817	26,323	26.0	40,203	4.3	21.7
うち単独分	724,086	12,451	6.5	23,352	▲ 3.6	10.1
H23	1,582,710	27,080	2.9	47,569	18.3	▲ 15.4
うち単独分	723,266	12,375	▲ 0.6	26,255	12.4	▲ 13.0
H24	1,040,027	17,645	▲ 34.8	50,880	7.0	▲ 41.8
うち単独分	615,981	10,451	▲ 15.5	26,879	2.4	▲ 17.9
H25	1,908,160	32,539	84.4	63,956	25.7	58.7
うち単独分	837,184	14,276	36.6	29,239	8.8	27.8
H26	2,211,585	37,889	16.4	66,255	3.6	12.8
うち単独分	471,200	8,073	▲ 43.5	31,822	8.8	▲ 52.3
過去5年間平均	1,654,660	28,295	19.0	53,773	11.8	7.2
うち単独分	674,343	11,525	▲ 3.3	27,509	5.8	▲ 9.1

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成26年度

福岡県古賀市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）		年度				
区分		H22	H23	H24	H25	H26
	財政調整基金残高	23.07	24.15	23.47	24.86	25.79
	実質収支額	4.66	4.22	6.79	5.52	6.38
	実質単年度収支	2.57	1.00	2.14	0.37	1.44

分析欄

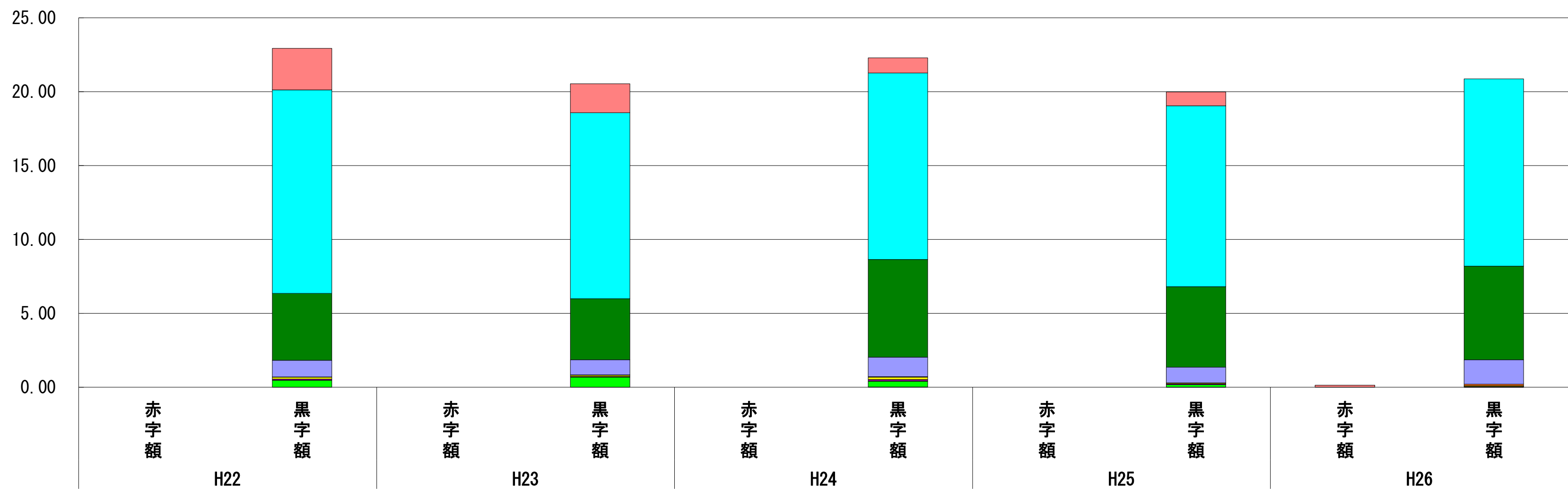
平成22年度までの行財政改革の結果、財政調整基金の取崩を抑制してきた。引き続き、老朽化した市有施設の整備・更新に備えて、基金の取崩を抑えつつ、施策の選択と集中により優先すべき事業へ重点的な財源投入を実施する。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成26年度

福岡県古賀市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
国民健康保険特別会計		2.82	1.96	1.03	0.93	▲ 0.15
水道事業会計		13.76	12.57	12.61	12.24	12.67
一般会計		4.53	4.14	6.62	5.45	6.32
介護保険特別会計（保険事業勘定）		1.12	1.03	1.31	1.06	1.66
後期高齢者医療特別会計		0.02	0.01	0.03	0.00	0.10
住宅新築資金等貸付事業特別会計		0.12	0.08	0.16	0.06	0.05
農業集落排水事業特別会計		0.08	0.06	0.12	0.06	0.03
公共下水道事業特別会計		0.48	0.68	0.39	0.17	0.02
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.00	0.00	0.02	0.01	0.01

分析欄

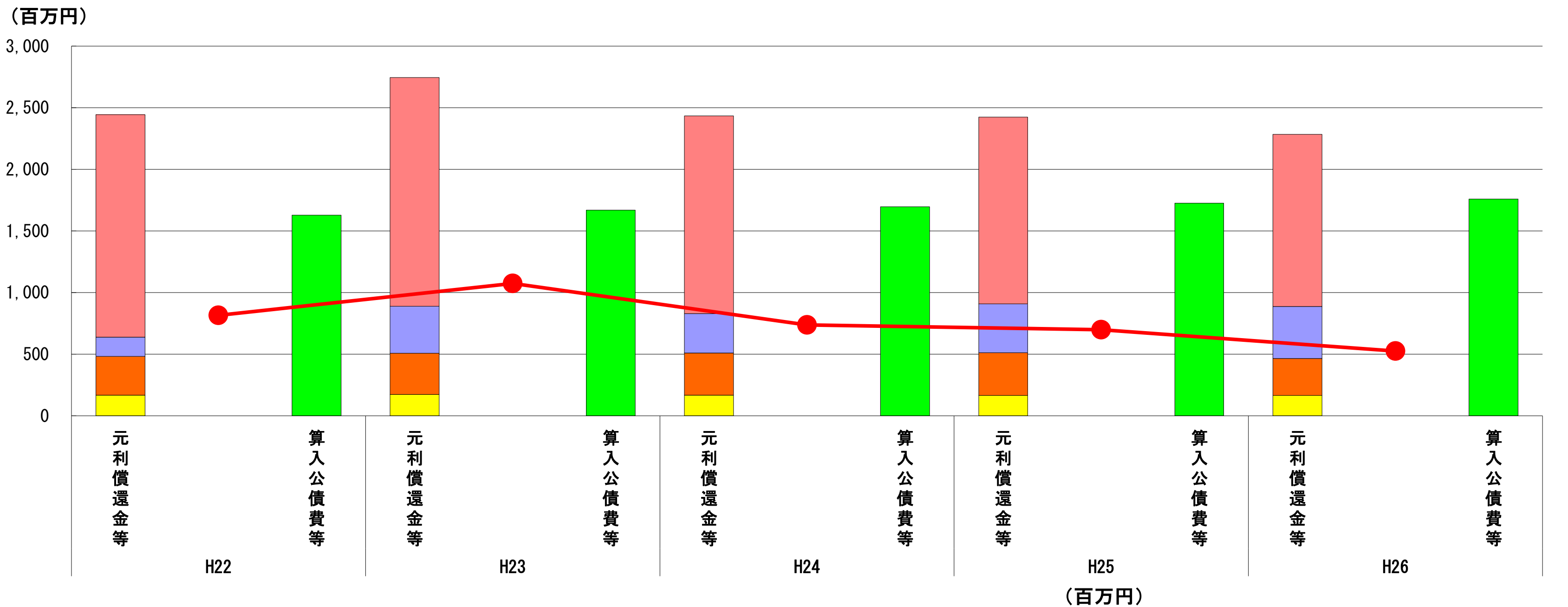
平成26年度は国保健康保険特別会計において、赤字が発生した。今後、保険料の見直しなどを行い、黒字化に努める。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

福岡県古賀市



分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,804	1,855	1,605	1,516	1,395
	減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		157	380	319	395	422
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		315	336	342	348	301
	債務負担行為に基づく支出額		167	173	168	165	165
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,628	1,669	1,696	1,725	1,758
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		815	1,075	738	699	525

分析欄

元利償還金については、償還のピークが過ぎたことから現在、減少傾向にある。しかしながら、研修棟の建て替えや老朽化した市有施設の整備・更新のため新規起債発行額の増加が見込まれる。また、公営企業債の元利償還金に対する繰入金についても、今後増加が見込まれるため、適正な繰出金の算定に努める。

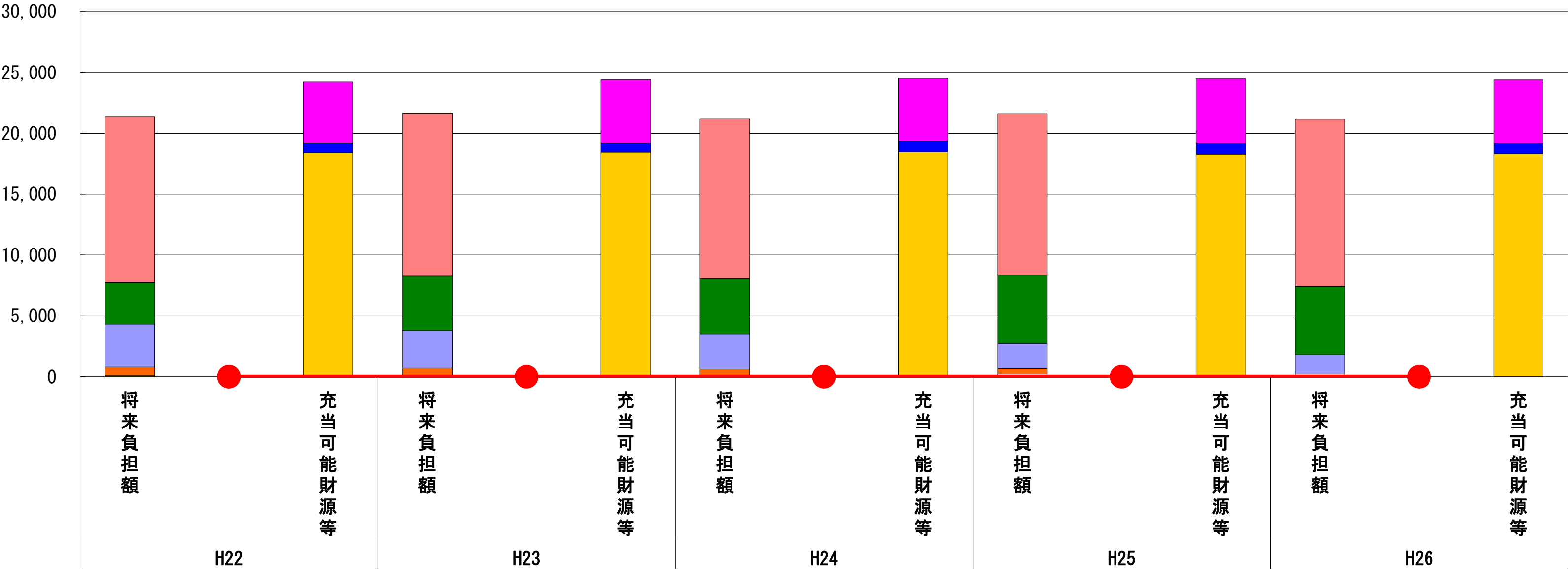
※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

福岡県古賀市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		13,569	13,310	13,109	13,212	13,768
	債務負担行為に基づく支出予定額		17	16	14	13	11
	公営企業債等繰入見込額		3,458	4,522	4,591	5,610	5,575
	組合等負担等見込額		3,505	3,059	2,869	2,088	1,591
	退職手当負担見込額		681	696	493	445	12
	設立法人等の負債額等負担見込額		126	15	126	220	220
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		5,040	5,232	5,136	5,334	5,251
	充当可能特定歳入		789	728	920	873	831
	基準財政需要額算入見込額		18,408	18,452	18,476	18,280	18,324
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 2,881	▲ 2,795	▲ 3,331	▲ 2,900	▲ 3,228

分析欄

例年、充当可能財源等 (B) が将来負担額 (A) を上回っているため、将来負担比率は発生していない。今後とも将来世代負担の適正化に留意し、財政運営を行っていく。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。